

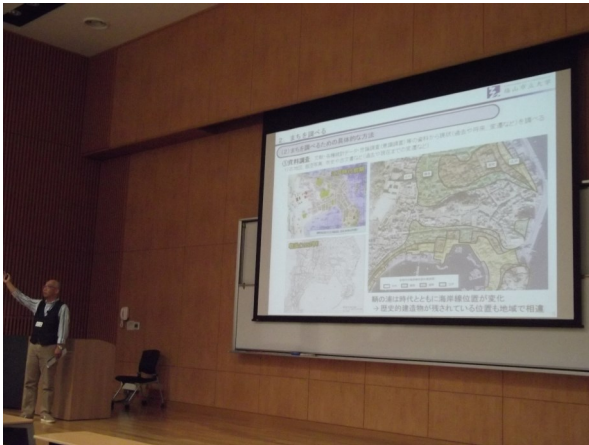
都市デザイン入門

担当教員： 渡辺 一成、岡辺 重雄、近藤 桂司、西川 龍也、
根本 修平、林 聡太郎

履修年次・区分： 1年（専門一学部基礎【必修】）

授業のテーマ： 本授業は「計画・デザイン」領域の教員全員によるオムニバス形式で実施し、「都市をデザインする視点」に根ざしながら、領域での研究分野を紹介する。併せて、都市デザインの現場におけるデザイン実務と求められる人材についても紹介する。

この日の授業内容： 調査分析評価／コミュニケーションデザイン



渡辺先生のこの回では、都市の現状分析の方法を学びます。まちの現状を調べる「3つの方法」には、資料調査、現地調査、意識調査があります。資料調査というのは、文献や各種統計データなどから調べることです。「国勢調査」や「国民生活基礎調査」などの統計データ、中央省庁が政府の施策についての現状分析をまとめたいろいろな「白書」、内閣府が行う「世論調査」など、まちの現状を知るための資料には様々なものがあります。



根本先生の回のテーマは、コミュニケーションデザインです。コミュニケーションデザインとは、何をどう伝えるか、伝える方法などを計画することです。例えば住宅設計の場合、施主との綿密な打ち合わせや模型の提示、実物を介した職人さんとの話し合いなど、どういうコミュニケーションをとるか段階ごとに整理されていますが、これらは後々のトラブルを避けるために制度化されたプロセスだといえます。

(2017年6月取材)